

開講機関：国立感染症研究所

国立感染症研究所広報委員会  
委員長 野崎智義

### 1. 国立感染症研究所について

国立感染症研究所は厚生労働省所轄の試験研究機関で、国内では唯一の感染症専門の国立の研究所です。その役割は、感染症を制圧し、国民の健康・保健・医療の向上を図る予防医学の立場から、広く感染症に関する研究を総合的に行い、国の保健医療行政に対して有用な科学的な知見・証拠を与えることです。具体的には(1)感染症の基礎・応用研究、(2)感染症のサーベイランス（発生動向調査）、(3)感染症のレファレンス（病原体標準株、試験・検査試薬などの保管・配布）(4)ワクチンなどの生物製剤の国家検定・検査、(5)国際協力、(6)研修などの事業を行っています。

また、当研究所の重要な役割や研究成果を広く国民の皆様に理解していただくために、市民セミナーや研究所の一般公開などのアウトリーチ活動にも力を入れています。

### 2. 知の市場での活動

知の市場では発足当時から、開講機関であるお茶の水大学および早稲田大学の連携機関として、感染症総合管理の講座を毎年30人ほどの研究者が担当してきました。2012年度からは、当研究所のアウトリーチ活動の強化・拡大を図るために、早稲田大学と連携しながら、開講機関として同講座を開催することになりました。当面、昨年度までの講座を継続いたしますが、今後、対象者別、テーマ別など新しいコースなども企画していくことを計画しております。

### 3. 2012年度開講講座

前期 感染症総合管理 1a 「感染症との戦い -現在問題となっている感染症-」  
後期 感染症総合管理 1a 「感染症対策 -ワクチンを中心に-」